

は、道、国に要望していきま
す。

(質問) かどやの跡地に「みが
散乱し農地に入ってきている。

(答) 早急に対応します。

(質問) 学校の跡地利用が決ま
るまでの環境整備及び体育館
は使用できるか。

(答) 公共施設として外回り
の草刈などは村で行います。
体育館は夏場は大丈夫と思っ
が、冬、夜などは照明、暖房
を使用するため、難しいと思
います。

【成香自治会】

(質問) 窓口業務は合併後、虻
田まで行かないといけないか。

(答) 日常的なことは、総合
支所で行えるようにしたいた
め、今支所の規模を最終調整
しています。

(質問) 村立高校はどうなるか。
(答) 町立高校として存続し
ていきます。

(質問) 高台保育所の場所など
の話しあいに今後入所予定の
親も、呼んでほしい。

(答) 今後入所予定の子ども

さんのいるお母さんなど父兄
にご案内します。

(質問) 緑肥の助成事業は今後
どうなるか。

(答) 虻田町と今後も続けよ
うと調整を図っています。

(質問) 自治会で要望している
が道路にくぼんだ箇所がある。

(答) すぐ修理するよう手配
しています。

(質問) サイレンを付けてくれ
るということだが、早急に消
防署と連動して、防災のサイ
レンを重視してもらえると地
域の災害を軽減にしたいと考
えているがどうか。

(答) 大変申し訳ないが、虻
田と連動させないといけない
が、現在アナログ方式となっ
ており、三年くらいでデジタ
ル方式に変えていく必要があ
ります。合併後、防災計画を
作りデジタル方式に変えて防
災と連動させる考え方の中で
整備したい。

住みよいふるさとをめざして

洞爺子ども議会

十二月五日、洞爺村役場に
おいて「明日の洞爺村を創る
洞爺子ども議会」が行われま
した。

子ども議会は、洞爺村の姿
を見つめ、理想の姿を提案す
ることにより、村民としての
自覚を持つようと、平成十三
年から行われており、今回が五
回目となります。

当日、現職の村議会議員も
見守る中、洞爺中学校の三年
生十名が議長、議員などを分
担し、村からは、菊池村長を
はじめ、助役、教育長、各担
当課長が答弁しました。

冒頭、互いの自己紹介や菊
池村長から「堂々と意見を述
べていただきたい」との激励
を受けて、本物の議会に則り
議長役の富田翔くんの進行で
議事が進められました。

続いて、今村紗耶加議員が
「洞爺村は合併して洞爺湖町と
なるが、住みよい町にするた

めにどうすればいいのか、私
たちにどんなことができるの
かをみんなで話し合っていけ
たらいいと思います」と質問
の趣旨説明を行い、次のとお
り一般質問が行われました。

【西岡寛憲議員】

(質問) 平成十八年三月二十七
日に虻田町と洞爺村は合併し
ますが、保育料や水道料金な
どは、函館市などは安くなっ
てきたようですが、今後の住
民負担の見通しや合併特例償
の使い道や町づくりをどのよ
うに行うか教えてください。

(答) 保育料については、所得
階層により保育料が定められ
ており、洞爺村も虻田町も国
の基準を下回った料金となっ
ていますが、新町においては、
安い虻田町の保育料に統一す
ることで現在調整中です。

また、水道料については、
取水方法や浄化施設の違いか

ら洞爺村が安く、虻田町が高
い状況にあります。両町村で
は施設・設備の維持・管理に
係る経費が大きく違うことか
ら水道料金は統一せず、合併
後も現在のままの料金としま
した。

このほか、負担料金が虻田
町より高いものと安いものが
ありますが、数年間で段階的
に調整する激変緩和措置とい
う方法などで、住民の公平な
負担に努めることにしました。

合併特例償の使い道と町づ
くりについては、洞爺村と虻
田町が合併した場合の新町の
将来ビジョンを明らかにする
ため、町づくり計画(新町建
設計画)を策定しました。

この計画は、洞爺村と虻田
町のもつ自然や文化・歴史な
どの特色を生かし、より良い
町をみんなで創って行こうと
する基本計画です。

この基本計画に基づき、道
路の整備や公営住宅の建設、
公園の整備など、新町として
の基盤づくりと町づくりが早
急に進められるよう国からの